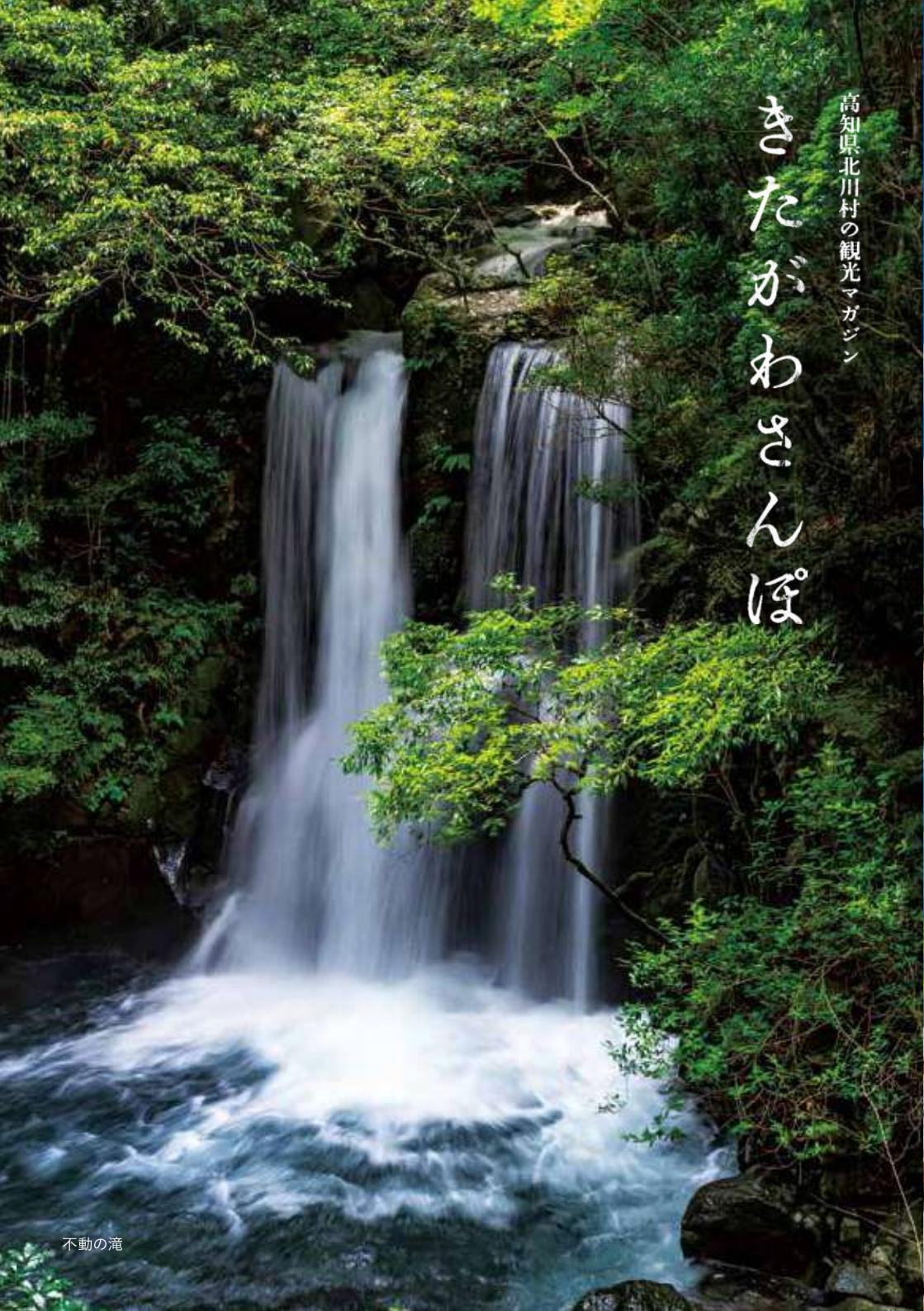


きたがわさんぽ



不動の滝

## 自然ハッピーな北川村へ、ようこそ。

青が眩しい空と川、白い川石、満天の星空、深き山。高知県北川村は「忙しい暮らし」の毎日からちょっとだけ休息したい日本中の人たちを迎え入れています。北川村にある自然と人のチカラで、無邪気になって帰つてもらうこと、それが私たちのハッピーなのです。

もう少し自己紹介すると、この村は雄大な四国山地を背に、奈半利川など多くの自然に育まれた小さな山村です。村内には、北川村出身で坂本龍馬と共に活躍した中岡慎太郎を顕彰した「中岡慎太郎館」や印象派の画家クロード・モネの自宅の庭を再現した「北川村モネの庭マルモッタン」など、家族旅行や友人たちとのグループ旅行で楽しめる観光施設もあります。また、古くからゆずの産地として知られ、収穫の最盛期となる11月には村中がさわやかな香りに包まれます。

この雄大な自然と先人より受け継がれてきた伝統や文化を守り、日本中の人が癒される場所として、これからも皆さんと一緒に、ハッピーになります。北川村へのお越しをお待ちしています。

フランスから  
高知、北川村へ。



印象派の巨匠  
クロード・モネの愛した  
風景がここにあります。

モネの愛した庭として有名なフランス、ジヴェルニーにある『モネの庭』。彼は43歳から生涯の半分をこの庭とアトリエのある邸宅で過ごし、創作以外の時間を庭仕事に充てていたといいます。そうしたクロード・モネの想いを、高知の北川村に再現したのが「北川村モネの庭マルモッタン」です。

本家・ジヴェルニーとの交流、相互理解が実り、それまで門外不出だった「モネの庭」の名称が贈られ、庭園管理責任者の協力のもと、2000年4月に開園しました。

季節ごとに美しい色彩を見せてくれる庭の花々。200種以上のバラ群。世界で唯一モネの庭を名乗ることを許された、北川村「モネの庭」マルモッタンが表現しているのは、美しい花々だけではありません。モネが自ら庭に注いだ愛情と知性から生み出される、まさにモネの絵画の世界なのです。



## カフェ モネの家



地元食材やモネのレシピを活かした、季節折々の料理でお迎えいたします。北川村の自然を感じながらゆっくりとお過ごしください。

## 手づくりパン工房



オリジナルの焼きたてパンをはじめ、地域の素材を活かしたアイスクリームやクッキーなど、あたたかい手作りの味をご用意しました。

## ギャラリー・ショップ

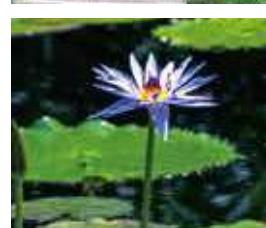


モネを中心としたミュージアムグッズ・オリジナル商品をはじめ、北川村特産の柚子を使ったゼリーや地元产品など豊富に取り揃えています。



## ボルディゲラの庭

2008年に誕生した「光の庭」は、2020年に地中海の光と色彩、モネが惹かれた風景を感じができる「ボルディゲラの庭」として生まれ変わりました。ヤシやオリーブなど地中海の植栽と、ツツジや柚子など高知の植栽をあわせた、世界に一つだけの庭となっています。



## 水の庭

モネの絵画の中の代表作「睡蓮」。そのスイレンが色とりどりと咲く池で、モネの描いた風景に出逢ってみませんか。池の周囲には「藤」や「柳」「桜」といった日本になじみ深い樹木を中心に、赤や黄色や青といった色鮮やかな草花たちが配置されています。



## 花の庭

画家のパレットの中の色あわせを思わせるような庭が「花の庭」です。季節の花たちが彩り、バラのアーチやノルマン風の造形など、花壇ごとに花色を変えて楽しめるようしています。展望デッキからの眺めは、空間の広がりを演出しています。

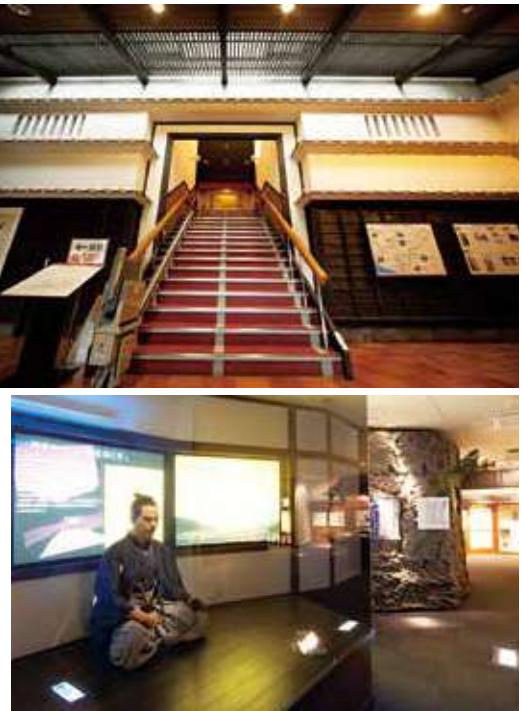
## ●お問合せ 北川村「モネの庭」マルモッタン

住所／安芸郡北川村野友甲1100 TEL／0887-32-1233 <https://www.kjmonet.jp/>

入園料／一般1,000円、小中学生500円 開園時間／9:00～17:00(最終入園 16:30)

休園日／6月～10月の第1水曜日 12月1日～2月末日(冬期メンテナンス休園)

# 歴史が語る、慎太郎の真実。



坂本龍馬とともに  
維新回天に尽くした  
幕末の志士、中岡慎太郎の  
資料館があります。

天保9年（1838）、北川郷柏木の大庄屋の長男として生まれた中岡慎太郎は、18歳の時に、藩校田野学館で武市半平太と出会いました。父の病気により20歳で庄屋見習いとして柚子栽培と植林の奨励を行うなど農民のために活躍しました。半平太の人柄に惹かれていた慎太郎は24歳の時に土佐勤王党に加盟。その後脱藩し、その生涯を維新回天のために日本を動き回り、薩長連合の実現、岩倉具視と三条実美的提携論文「時勢論」の執筆、大政奉還の主張など、先を見通す才力、知性と感性、行動力を發揮しました。

その慎太郎の30年の生涯を「中岡慎太郎館」が伝えてくれます。

1Fは慎太郎の人生を年代ごとに時系列で展開。映像とパネルを中心にドラマチックに再現しました。2Fは慎太郎の人柄と、交流のあつた幕末の志士、公家の肖像画、書簡、掛け軸などを中心に展示しています。また年に数回の企画展示も開催しています。

## お問い合わせ

### 中岡慎太郎館

安芸郡北川村柏木140 TEL／0887・38・8600

<http://www.nakaokashintarokan.jp/>

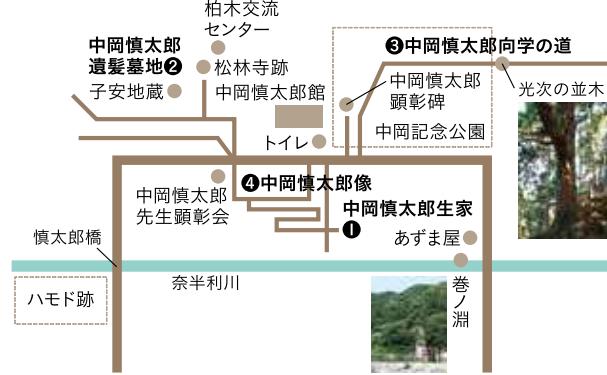
入館料／一般500円、小中学生300円

開館時間／9:00～16:30（入館は16:00まで）

休館日／火曜（但し休日の場合は、その翌日）、年末年始



## 周辺地図



④中岡慎太郎像



③中岡慎太郎向学の道



②中岡慎太郎遺髪墓地



## ③中岡慎太郎向学の道

慎太郎が漢方医・島村策吾の塾や、田野学館へ通学するときに通った道を、現在は「中岡慎太郎・向学の道」と呼んでいます。片道約90分の山道を毎日往復して勉学に励んでいました。

添えられていたものです。

## ④中岡慎太郎像

平成11年(1999)、生誕60年を記念して、全国から募金によって建設された銅像です。この石碑のなかには建立記念誌、北川小・中学校の文集がタイムカプセルとして埋葬され、生誕200年(2038)の年に取りだされます。

まだまだあります、  
慎太郎スポット!

北川村の青年団が慎太郎を知る田中光顯(元宮内大臣・陸援隊隊員)に相談して、昭和2年(1927)に建立した「中岡慎太郎顕彰碑」や、少年時代に川遊びをしていた「巻ノ淵」、向学の道の中には幼少時代の名前が付けられた「光次の並木」があります。

## 日本を変えた慎太郎の生まれ故郷をさんぽ。



①中岡慎太郎生家



中岡慎太郎生家室内

中岡慎太郎生家門

## ②中岡慎太郎遺髪墓地

慎太郎は天保9年(1838)4月13日、茅葺き屋根、肘屋建築の家で誕生しました。庄屋の家には必ず勘定の間があり、庭に面した式台、次の間、客間は公の間、その他の奥の間を私生活に使われています。昭和42年(1967)に復元・県指定史跡。

## ①中岡慎太郎生家

慎太郎は天保9年(1838)4月13日、茅葺き屋根、肘屋建築の家で誕生しました。庄屋の家には必ず勘定の間があり、庭に面した式台、次の間、客間は公の間、その他の奥の間を私生活に使われています。昭和42年(1967)に復元・県指定史跡。

ドラマの連続だった30年の人生のスタート、北川郷柏木からたどりました。

## 森と木、アートのような温泉宿。



### 山と川と赤鉄橋。

日本の原風景のなかにある

一軒だけの温泉宿があります。

奈半利町と東洋町野根を結ぶ国道493号の道中に建つ一軒宿は、80年以上前から親しまれてきたトロトロのお湯が自慢の「北川村温泉ゆづの宿」。

森林センターの保養所として親しまれ、のちに村の施設として北川村民をはじめ近隣のたくさんの方々に愛された建物が、2018年にC.I.T工法で建てられた日本初の宿泊温泉施設としてリニューアルしました。高知県産木材をふんだんに使った建物に入ると、木の香りに包まれ森に癒されているようです。

客室は、一人でも気軽に利用できるダブルのお部屋と、友人や夫婦で静かに過ごせる和モダンなツインのお部屋、特別室仕様で檜の展望風呂付の

和洋室の3タイプがあります。和洋室タイプには5名様まで泊まることができます。

自慢の温泉は、弱アルカリ性冷鉱泉の源泉100%、トロリとした肌触りが体の芯まで温めてくれます。開放感のある大浴場には露天風呂もあり、夜は満天の星を眺めることができます。貸切風呂もあり、50分2,200円で利用できます(予約も可能)。日本の原風景を感じさせる山々と奈半利川、日本遺産の赤鉄橋と癒しの温泉をぜひ味わってください。



10:00~17:00まで自転車の貸し出しができます。宿泊者の方は無料。日帰り入浴の方にも1時間100円(保証金要)にてご利用いただけます。



### お問合せ 北川村温泉 ゆづの宿

安芸郡北川村小島121 TEL/0887・30・1526

<https://www.yuzunoyado.net/>

料金／(2名1室平日、夕朝食事付、税別)

ダブル12,000円 ツイン13,000円 和洋室(展望檜風呂付)18,000円  
日帰り入浴／大人700円、子ども350円(11:00~20:20札止め)

レストラン／11:30~14:00(L.O 13:30) 18:00~21:00(L.O 20:00)

\*宿泊は無休、日帰り温泉、レストランは火曜定休

時代時代の史跡が点在する、歴史的・文化的遺跡をつなぐ街道です。



## 野根山街道 千年以上前の面影が残る、全国的に稀な古道。



宿屋杉

昭和9年(1934)の室戸台風で倒壊しましたが、樹齢1000年以上、木の周囲約16m超あり、旅人は根元の空洞で寝泊まりしていました。

野根山街道は奈半利町から北川村、東洋町野根まで、野根山連山を尾根伝いに歩く約35kmの自然遊歩道です。その歴史は古く、約1200年以前から国司の移動のため整備され、人々の往来する道になり、藩政時代には参勤交代 中岡慎太郎ら幕末の志士の脱藩の道でもありました。

北川村では今も根元の空洞で寝泊まりできる樹齢千年以上の「宿屋杉」や、街道の要所であった「岩佐関所跡」、藩政時代の杉並木が残る「旧藩林」など、当時の面影をとどめています。現在もウォーキングなどで楽しんでいる家族やグループをよく見かけます。

●お問合せ  
北川村産業課  
TEL／0887・32・1221



魚梁瀬森林鉄道軌道跡

## 木材と人と文化を運んだ 森林鉄道の物語。

森林鉄道施設として  
初めて国指定重要文化財に！

当時の時代の香りが  
漂ってきます。

明治44年から昭和38年まで、中芸地区(5ヶ町村)一帯を結んでいた「魚梁瀬森林鉄道」がありました。木材を運ぶことが目的ですが、唯一の交通機関として人々の生活の足になり、日用品等の買い出しや地域の交流ができました。今は軌道跡ですが、歴史遺産ともいえる橋梁やトンネルなど遺構が残っています。平成21年2月に近代化産業遺産群に認定、6月には森林鉄道施設として初めて国指定重要文化財となりました。

北川村には「大吠橋」「井ノ谷橋」「堀ヶ生橋」「二股橋」「小島橋」の五か所が指定されています。

●お問合せ  
中芸のゆずと森林鉄道  
日本遺産協議会  
TEL／0887・30・1865

北川村観光協会  
TEL／0887・32・1233(モネの庭内)



堀ヶ生橋

奈半利川に架かるコンクリート造の充腹式単アーチ橋。近代に建築された充複式単アーチ橋では、我が国最大級といわれています。(近代化産業遺産群)



二股橋

奈半利川支流の小川川に架かる無筋コンクリート造の充腹二連アーチ橋です。橋長46.5m、スパンの長さ約20mあり、我が国最大級の無筋コンクリート造橋です。(近代化産業遺産群)



小島橋

奈半利川に架かる単線仕様の鋼製橋梁で、昭和7年に建造されました。森林鉄道遺産のなかで最も大規模な橋です。(近代化産業遺産群)

# きたがわナチュラル旅行。

ゆっくり、のんびり散歩して、北川村の息吹を感じてください。



星神社

木積地区にある星神社(金宝寺観音堂)の参道をあがっていくと、境内の広い空間に、樹齢数百年の杉が囲むようにあり、雰囲気抜群の場所。ここは悪魔退治、五穀豊穫を願い千年以上前から続く古祭「お弓祭り」の場所としても有名です。



竪穴岩群（おうけつがんぐん）

国道493号にそって流れる小川川は、二股橋から上流に蛇谷林道入り口付近までの間、白い石が続き、なかには臼のように穴のあいた岩が点在します。これは巨岩に小石があり、年月をかけて削られていったもので、群として見られるのは珍しいといわれています。



かかしの里(島地区のかかし)

地域のお年寄りが「クスッ」と笑ってくれるような事がしたいと一人の村民さんが始めたかかし作り。自宅の庭やバス停に座っている様子は生きている人間のようにリアルで話題を集めています。



子安地蔵

子授け、安産、子育てにご利益があるといわれているのが、松林寺境内にある子安地蔵で、村内外から大勢の方がお参りに来ます。



釘抜き様

野川地区、岡家の墓地にある釘抜き様は、釘抜き、腎臓胆石、尿道結石、安産にご利益があり、いろいろなトラブルの釘を抜いてくれる場所といわれています。参道の至るところに、釘抜きのお礼だつたり、思いを綴った碑があり、それを読みながら杉並木の間を抜け、祠まで進んでください。



不動の滝

小島橋を渡り、北上した先にある不動の滝は、3つの滝からなる名瀑です。入り口から遊歩道を進むと、すぐに滝の音が聞こえ、森林浴と滝のハーモニーを楽しみながら三の滝、二の滝、一の滝へと楽しめます。二の滝には不動尊も飾られています。



## 全国一の 柚子産地を さんぽ。



北川村に来たら味わって!  
実生の柚子酢の香りと酸味。

高知県は全国シェアの約半分を占める柚子生産県ですが、その中でも北川村はトップクラスの生

産量を誇っており、柚子栽培の歴史ある産地です。

北川村と柚子をつなげたのは、庄屋見習いだった中岡光次（慎太郎）です。飢饉に備え、柚子を塩代わり防腐や調味料として使おうと、村内に自生していた柚子の作付けを農民に奨励。その後、昭和40年頃から本格的な柚子の栽培が始まりました。

柚子には、種から育て実をつけまるまで通常15年以上かかる実生（みしょく）と、柚子の枝を接ぎ木にして5～6年で実をつける接木の柚子があります。北川村は実

生の出荷が県下でも一番多く、実生の柚子は接木の柚子に比べ香りが高く酸味も強めで、栄養価が高いオリガミ沈殿したり、浮いているのが特徴です。

北川村ではどの家も2～3本の柚子の木があり、11月頃の収穫期になると柚子酢にして、田舎寿司の酢飯や大根おろし、刺身や豆腐に使うなど、日常の食生活に使われています。秋頃から全村体が柚子の香りに包まれ、柚子玉のなる木々を眺めながら「きたがわさんぽ」の途中、実生の柚子酢を味わってみませんか。

北川村の特産品といえる柚子は、柚子酢をはじめ、ジャム、ジュース、佃煮、ゼリーなどに加工され、全国に出荷されています。

## 北川村自慢の逸品

### きたがわさんぽの途中にあるお土産。

北川村でつくられる特産品は、どれをとっても逸品ぞろいでました。

#### ゆず羊羹、よもぎ羊羹

(小島山菜グループ)

羊羹で野の味わいを感じませんか？昔ながらの田舎なりで、ゆず羊羹とよもぎ羊羹があります。



高知県内の柚子の一大産地である北川村だけに、柚子に関する土産物は多くあり、どれも優れた逸品ばかりです。各種取り揃えて味比べも楽しいですよ。

左から、

ゆずサイダー、北川村ゆずポン酢、実生ゆずしづり  
北川村ゆず王国（株）

TEL／0887・38・8747

<http://www.yuzuokoku.jp/>

ゆず北川村

JA高知県 北川支所 TEL／0887・38・4611

ゆずの香ポン酢しょうゆ、ゆずのさわやかドリンク、  
ゆずの贅沢ドレッシング（有）池田柚華園

TEL／0887・38・4287 <http://www.yuugaen.jp/>

#### モネの小路 ゆずサブレ

(北川村「モネの庭」マルモッタン)

北川村の柚子を使用して、その新鮮な香りを飛ばさないよう、さくさくして上品なサブレを焼き上げました。世代を問わず愛されています。



#### じゃこ味噌、味ゆず、しょうゆのみ、 ゆず味噌 (小島山菜グループ)

昔から地元に伝わるゆず味噌や柚子皮のうま煮である味ゆずなどを、地元婦人グループがお土産にしました。体に優しい無添加の商品！きっと中岡慎太郎も好きだったはずです。



## 北川村の食事処

### きたがわさんぽの途中にある旨いもの。

北川村ならではの地元食材を生かした料理が味わえます。

#### NPO法人

中岡慎太郎先生顕彰会

「中岡家」

慎太郎食堂



#### 田中勘介商店

役場の近くにあり、地元の方が毎日買い物にくる信頼されたお店。お屋前には、30種類以上のお弁当、お惣菜が店内に並びます。

住所／北川村野友甲

1565-2

TEL／0887・38・4282

営業時間／8:00～

20:00

定休日／日曜



#### いごっそらーめん店長

行列が出来る人気ラーメン店。いごっその店長が出迎えてくれます。

住所／北川村野友乙

426-3

TEL／090・9094・8057

営業時間／11:30～

14:30、17:00～20:00

定休日／月・金曜（祝

日営業 翌日休）



村民が集う小さな喫茶店。チキンカツ定食が人気です。

住所／北川村野友乙526-3

TEL／0887・38・5535

営業時間／7:30～

18:30

定休日／日曜



#### 高橋円次商店

山菜を中心とする、実生柚子酢のパンチの効いた田舎寿司がメインで、アジの姿寿司やサバの押し寿司などもあります。

住所／北川村野友甲1554-2

TEL／0887・38・4304

営業時間／9:00～

17:00

定休日／火曜





JR高知駅から車で	約80分
高知自動車道南国ICから車で	約70分
高知龍馬空港から車で	約60分
阿佐海岸鉄道甲浦駅から車で	約80分
土佐くろしお鉄道奈半利駅から車で	約10分

きたがわさんぽ

企画・発行／北川村観光協会  
住所／安芸郡北川村野友甲1100(モネの庭内)  
発行日／2020年7月  
写真提供／北川村役場、北川村教育委員会、北川村モネの庭 マルモッタ  
制作・編集／クリケット「季刊高知」編集部、ゴーゴーデザイン  
写真／釣井泰輔

土佐くろしお鉄道

23 ● ● ● きたがわさんぽ



## レンタサイクルについて

北川村温泉 ゆずの宿で貸し出している自転車で、小島橋、ゆず畠、不動の滝など自然に囲まれたエリアを巡りませんか。遊んだあとに温泉でゆっくり疲れを癒すのもオススメですよ。

- 利用時間／10:00～17:00(宿泊者はご相談ください)
  - 利用対象者／中学生以上
  - 利用料金／1時間あたり100円(宿泊者は無料)

北川村観光協会



北川村「モネの庭」マルモッタン ポルディケラの庭